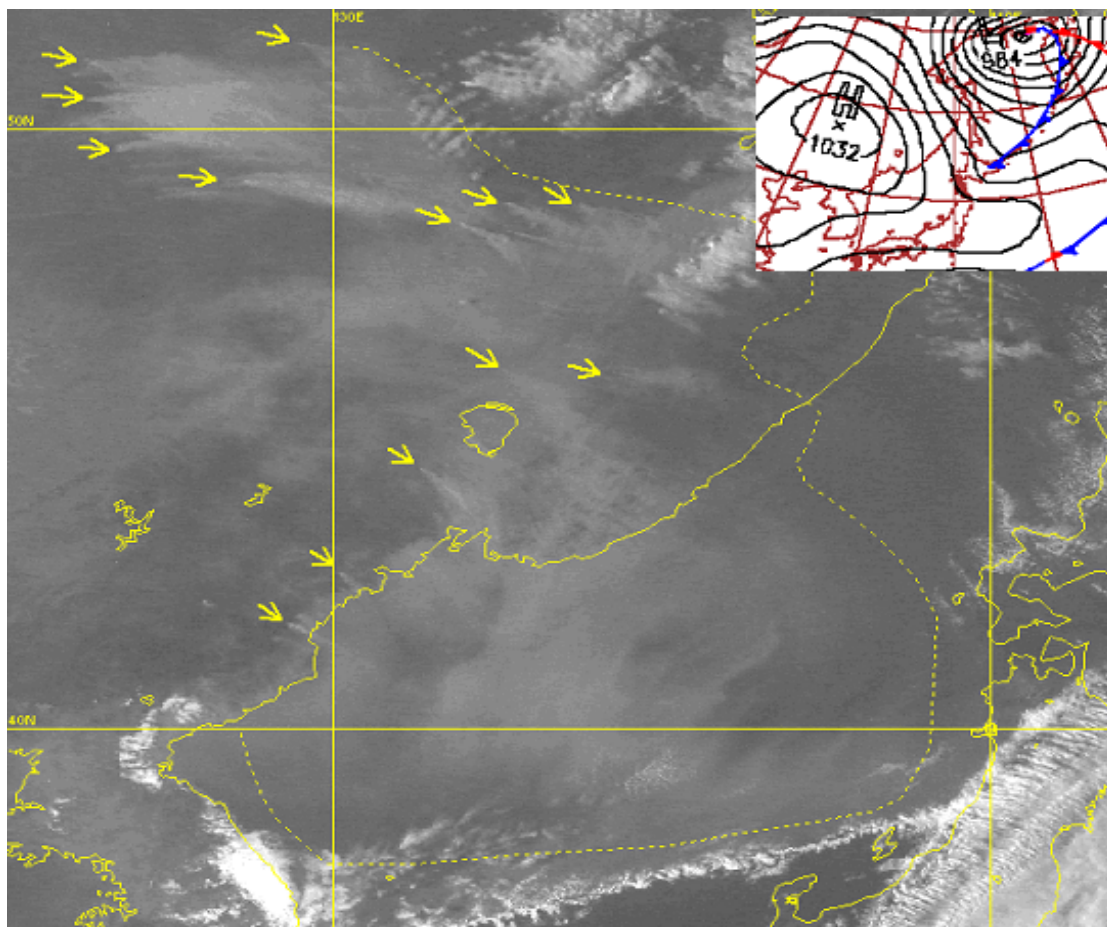


今月の気象衛星画像 (2004年10月)



2004年10月16日16時の可視画像

右上 2004年10月16日09時の地上天気図

衛星画像から見たロシア森林火災の発生源と煙の拡散

10月17日付毎日新聞によるとロシア極東の森林地帯で10月16日に大規模な火災が発生し、同日夕方時点で約1万6800ヘクタールが延焼した。このような大規模で長時間に及ぶ山火事は、上空に雲がなければ衛星画像から検出が可能である。

写真は16日16時の可視画像^{※1}で、画像から見た森林火災の発生源と思われる位置を矢印で示した。16日09時の地上天気図では、中国東北区に高気圧、カムチャツカ半島に低気圧の気圧配置となっている。森林火災による煙は、概ねこの高気圧の縁辺を円弧状に日本海へ拡散している^{※2}。なお、日本海付近に拡散した煙は、高層観測や数値予報資料等によると850hPa付近の風向・風速との対応が良いことから、その高度は1500m前後と推定される。また、煙の一部は北海道方面にも流れ、稚内市等で煙の影響と思われる視程の低下がみられた。

※1 煙が見やすいように階調を調整してある。

※2 拡散した煙の先端付近を破線で示した。北海道付近は煙が薄くて判り難い。

(気象衛星センター)